

会 議 録

会 議 の 名 称	第 2 回 浅 口 市 行 財 政 改 革 推 進 懇 談 会		
開 催 日 時	平 成 2 7 年 2 月 2 日 (月) 1 3 時 2 8 分 から 1 5 時 4 5 分		
開 催 場 所	浅 口 市 役 所 消 防 機 庫 2 階 会 議 室		
出 席 者 及 び 欠 席 者	【懇談会委員】 佐藤豊信会長・田口桂一郎副会長・大橋徳子・大室照明・奥慎二・ 金平剛一・川手公彦・佐藤正人・妹尾義信・守屋靖・山内悦子 [欠席] 尾崎照子 【事務局】 秋田裕企画財政部長・高倉道雄政策課長・ほか政策課 3 人		
傍 聴 の 可 否	傍聴可能	傍 聴 者 数	無
会 議 次 第	1 開 会 2 協 議 事 項 1) 行 革 プ ラ ン 取 組 状 況 追 加 説 明 2) 使 用 料 ・ 手 数 料 3) 補 助 金 3 閉 会		
問 い 合 わ せ 先	企画財政部政策課 電話番号 0 8 6 5 - 4 4 - 9 0 1 3 〒 7 1 9 - 0 2 9 5 岡山県浅口市鴨方町六条院中 3 0 5 0 e-mail seisaku@city.asakuchi.lg.jp		

発言者	内 容
佐藤会長	<p>【開会】</p> <p>第1回11月10日のこの懇談会で行革プラン取り組み状況説明があったが、本日進捗状況等について明確に説明いただく。また使用料・手数料の現状および今後どう取り組んでいくかについて議論し、次回の答申決定に持っていきたい。そして、平成27年度は、支所の統廃合について検討を行いたい。</p>
事務局	<p>【行革プラン取組状況追加説明】</p>
佐藤会長	<p>もともと私がお願いした根本は、◎とか△とかあるが、なぜその事案ができなかったのか、どうすればできるのかなどがこの表だけではわからないので、それを説明してほしいとお願いした。みなさん理解できたでしょうか。</p>
守屋委員	<p>◎とは実施した、ということか。 プランに書かれたことが実施できておれば◎。プラスアルファではない？</p>
奥 委員	<p>わかりにくいのは目標がないからではないか。目標の達成度により○、△とかすればわかりやすいのでは。</p>
佐藤会長	<p>(卒論の研究を例に) どの農家がどんな問題で困っているのか。そこからどう解決するか方針を示してから取り組む。そもそも目標がない。このような行政の作文の仕方では、後任はなにもわからないのでは。こうした文書の書き方をまず変えなければならない。</p> <p>「16：協働のまちづくり基本指針の策定」では、何をどうするか具体的に、前任者の蓄積を伝えるものにしなければ、その都度ゼロになり、何も進まない。「20：市民会議」も開催の結果どういう成果があったか、どうしていくのかが書かれていない。「25：市政アドバイザーの設置」についても、専門家に何を聴くのか具体的に計画があるのか。「30：行政評価制度の見直し」も、どういう意識向上が達成できたのか、最終的にはどこまで意識向</p>

佐藤会長	<p>上を凶るつもりなのか。やったやったでは何も蓄積されない。「31：事業仕分けの推進」も当然優先順位があるはず。それがわかる文書にするべき。基本的に見直しをやるという、成果をあげるという、何をどのようにやっていくかを明確に、次の人にきちんと伝わるようにすべき。これを実現しないと行革は進まない。</p>
山内委員	<p>取組欄の○は、目標・目的があって、具体的に実施し、課題があり、それを私たちがいるとかいらぬとか議論する。具体的なことが書いてあれば勉強にもなるし、検討もできる。</p>
佐藤会長	<p>そのへんを明らかにすると人事評価もわかりやすくなるであろうし、きちっとした文書を書き、評価をし、引継ぎをしていくことから行革をすすめてほしい。</p>
秋田部長	<p>行革プランの表は最終段階。取組調書もある。次の担当に伝わるようにしている。意見を参考にさせていただく。今回は量が多くなるので、控えさせていただいている。</p>
佐藤会長	<p>行革プランにのっとってやったのだろうが、これから検討の余地もあろう。取り組んだ実績の評価、次年度につなげていくことについてはさらに改善していくこと。</p>
事務局	<p>【使用料・手数料について説明】</p>
佐藤会長	<p>何かご質問ご意見等ありますか。</p>
金平委員	<p>原価計算をしていないのに驚いた。ある程度どのくらいの原価がかかっているのか出してみても、どのくらいを住民に負担してもらおうのか決めれば。減免額の大きいところも見直し必要では。根拠をしめせば、理解いただけるのでは。手数料についても、300円以上が常識だと思っていた。里庄は安いですが、300円でも状況さえ説明できれば、値上げできるのでは。サービスを利用していない人へ賦課を押し付けるのはどうかと思う。状況を説明できる資料を作って渡せば。駐輪場は、金光と鴨方で違う。同じ浅口市なので同一金額で提供するようにしたほうがよいのではないかと。体育協会とかは減免してもらっているが、実際にどういう人が減</p>

奥 委員	<p>免されているのか、いくら払っているのかわからない。維持管理含めていくらかかっており、いくらを負担してもらうのか負担割合を決める必要がある。減免は、活性化のため、地域のため、よくしていこうとしている者は減免すべきだが、高齢者等はお金をもらえばいいのではないか。</p>
山内委員	<p>65歳までは健康。受益者負担は必要。里庄とほぼ変わらないが安い。必要な経費として金額を倍にしてもよいのではないか。減免の同好会について、合併以前から優遇されている旧町バラバラなものについては、一度平らにして精査しなおす必要があるのではないか。トレーニングルームはよく来る人で満杯。せめて65歳以上でも100円ぐらいはとっていいのでは。とるべき。市民もわかってくれるはず。</p>
金平委員	<p>タダはない。受益者負担が原則。いつも行っている人だけで、行きたいと思う人が行けていないのは不平等である。</p>
大橋委員	<p>最低限の維持費を出したうえで、料金を決めるべき。全く利用しない人もいるわけなので、その人たちの税金が使われていることも考慮して料金を決めるべきである。</p>
妹尾委員	<p>根拠がないと言えないが、おそらく教育委員会主催の事業の減免ケースも含まれているのではないか。そういうところもはっきりしないと、ややこしいことにならないか。</p>
大室委員	<p>平成18年3月21日からの料金のまま改定していないものがほとんど。旧3町をそのまま引きずり10年が経過した。10年を機にどうあるべきか考えるべき。減免については、コミュニティなんかは免除され、ありがたいが、冷暖房の経費ぐらいは負担すべきではないかと思っていた。10年たって統一的な使用形態、減免形態があってしかるべき。公平な負担という点から料金の値上げも必要ではなからうか。</p>
佐藤委員	<p>寄島B&Gの減免者の中には、学校が利用する場合も入っているのか？→はい。 使用料・手数料の収入額が歳入総額の1%未満とのことだが、他</p>

佐藤委員	市に比べ、割合が少なく、料金も安い。今の時代受益者負担。ご理解いただける案で行くべき。
守屋委員	3町の違いは極力なくす。新しい浅口市を作る。変な気兼ねはなくす。水墨画を家内がやっているが、講座を卒業したが文化協会に入っているからタダだと。多くの団体が文化協会に入っている。照明、エアコン、管理費に多くの費用がかかっているのではないか。
大橋委員	文化協会に入っている一部の人間が好きなことをやっているだけなのに、使用料やエアコン代を免除されている。利用していない市民の税金を使っており、公平さを欠いている。
川手委員	3町の料金の差が、10年たってもある。統一した料金するべき。
田口委員	10年たつのでここでメスいれるべき。遥照山総合公園は利用者が少ない。管理費は多くかかっているはず。管理費のことも考えないといけない。
佐藤会長	<p>「抜本的な見直しが必要」とのご意見であったと思う。行政が提供するサービスなので、民間とは違う考えも必要だが、根本的な欠陥は経済計算が全くなされていない。減価償却や人件費、維持管理費などを計算し、永続的にこの施設を継続していくための料金を企業だったらやっている。浅口市にはそのような計算がない。赤字になるのは当たり前。こんな運営やってたらダメ。適正な料金はいくらなのかをきちっと出して、行政サービスとしての重要さの度合いを加味して負担率を考える。市民への責任果たしていない。どういう論拠について差をつけるかは公平性の視点必要だが、まずもとになるデータ必要。支出とのバランス、優先順位に基づいて、論理をキチンとだして、市民に納得いただける努力をすることが必要である。</p> <p>(休憩 10分)</p> <p>さっきのところで質問。高齢者の減免について、年齢も考え直し</p>

守屋委員	たらどうか。65歳を少し上げてもいいのではないか。
大橋委員	料金を決めるにあたって、文化協会でも連盟等が主催の大きな組織の事業については特例として使用料を免除してくれたらどうか。個人個人が習っているものについては、利用者が使用料を払えばよいが、みんなで展示する場合は無料にしてもらいたい。
佐藤会長	皆さんの税金であり、できるだけ多くの皆さんに使ってもらえるか、透明性、公平性や世間にどのようなメリットがあるかも視点として持つことが必要である。
山内委員	市民にとって有益な団体もたくさんあるのでお願いします。
佐藤会長	公共と言っても優先順位がある。 補助金について説明をお願いします。
事務局	使用料について市が行う行事の人数等も入っているかについては、入っている。駐輪場の料金の違いについては旧町のままの料金を継続しているためです。
	<p>【補助金について説明】 (補助金について資料の訂正) P 36の12番太陽光の交付周期について「予定なし」と訂正を。 P 40の48番ひがさき踊り保存会補助金、85000円→55000円とし、「佐方ひがさき踊り保存会」を消す。 (補助金について資料説明) 補助金全体7億2千万 事業費補助5億2千万、団体補助2億</p>
佐藤会長	補助金の取り扱い方としては事務方としてはどんなふうに考えているか？
事務局	事業費補助については、国・県の補助から始まった。国・県の補助がなくなっても団体補助は足りない部分を補助するのが本来。補助金が団体の事業費全体になっている実態もある。直していかないと。 いろいろなものが混在していると理解してよいか。→はい。

佐藤会長	行政のほうで何か仕分けする場合、その区分のあり方としてはどういったものを考えているか？
事務局	事業費補助については、3年間で打ち切りが多い。3年ですぐ切ってしまうと、成果が出ない場合もある。しかし、財政は厳しくなる。団体補助については、合併以降も補助してきたが、財政も厳しいのでこれから検討していく必要がある。
佐藤会長	成果・効果の測定は？国の補助が終わっても続行させていくことが必要とのチェックは？
事務局	総合計画実現プロジェクトで事務事業に優先度順位をつけるにあたって、補助金についても優先順位をつけている。
佐藤会長	積み上げた補助金額が適正かどうかのチェックはできているのか？
事務局	総枠の話はできていないのは現実。予算の時に精査はしている。新しい課題もどンドンでてくる。総額が減るよりも、増えるほうが多い。優先度順位も一度にはできないが、3年後とかにやめられるよう、いろいろ検討はしている。総枠（総額？）は大事。
奥 委員	項目が種類別になっていないので見づらい。お願いとしたら、コミュニティとか防災とか分けてくれたらいいのではないか。
佐藤会長	いい点をご指摘いただいた。グルーピングをして、主要な目的別に整理すると名前は違っても同じ性質のものが出てくるのでは。不要な部分が見えてくるのではないか。
守屋委員	結局、旧3町でやっていたことがそのまま継続している。統一する必要がある。
山内委員	ごみ処理機とごみステーションなど、個人・地区に補助している者など重複しているものがある。また、主婦目線で言わせてもらうと、効果や成果が×のものははずしていくのが普通ではないか。効果・成果をしっかりと重視してほしい。不妊治療は大事であり、

	<p>定住促進に向けた取組や安心・安全に向けた取り組みは積極的に行うべきである。</p>
佐藤会長	<p>グルーピングしたうえで、効果・成果を測定し、検討。永遠に続けるのではなく、終期を設定。長期的に何を目的とした政策、補助金なのかをはっきりと。この補助金も順位が付けられるのではないか。→次回用意します。</p> <p>事務局は資料を作るだけでなく、今まで検討してきたことを提案することも大切である。</p>
守屋委員	<p>新しい補助金の視点として、旧町のしがらみをぜひ取ってほしい。コミュニティの会合では、敬老会の補助金については何回も議題に出ている。敬老会をやらない地域では、1700円のお金を配る行為がどうかと思う。はたして1700円配ることがお祝いなのか。寂しい思いがする。</p>
川手委員	<p>何回市役所に言っても考えてもらえない。合併する前は敬老会を町と地区と交互にやっていた。参加する人は2200円。演芸やったら2200円。不参加の人にはわずかな記念品を配っている。</p>
大橋委員	<p>団体補助について、別に収入がある団体もある。収入源がない団体と分けて考えていくべき。</p>
佐藤会長	<p>グルーピングの際に分けるべき。グループごとウエイト付けは、どの施策が市の成長戦略に合致するか。グループごとの優先順位では協議の必要がある。</p>
佐藤委員	<p>自主防災や里山づくりなど、市の施策の角度の補助金なら、増やしていこうということになるはず。力を入れていくところとそうでない部分のバランスが重要であろうと思う。</p>
佐藤会長	<p>将来的に伸ばしていかなければならない事業への補助などジャンル分けとそのジャンルの中での順位付けが必要である。</p>
守屋委員	<p>ひとつひとつの事業を実施するのではなく、まとめてやれば安く効率的にできることもある。行政のほうである程度とりまとめて</p>

守屋委員	<p>やれば安くなるのではないか。</p> <p>委員報酬はあまりに無駄ではないか。なかには弁当代くらいほしい時もある。30分で終わる会議もある。今日は宿題もあり、事前に勉強する必要も、心の負担もある。この間半日ほど人権教育で幼稚園に行った。2000円もらったが、報酬をもらったが、やりきれない気持ちであった。県北に行く場合、一日つぶれるが、それは一切なし。</p>
佐藤会長	<p>協議事項一応すべて終了であるが、次回に事務局準備していただくものきちんと整理をしてお願いしたい。行革プランの取り組み状況とも関係するが、いろいろ検討しているとのことだが、短い文章できちんと本質を伝える文章を書く。これが大事。行革プランの資料では、何を書いているのかわからない。これではいけない。行政がレベルアップするためには、短い文章の中に市長が読んで、一目瞭然にどのようにリードしていかなければならないか分かる文章を作るトレーニングをしなければならない。書けるということは書いている本人の頭の中で何をしなければならないかがクリヤーになっている。使用料・手数料・補助金について、グルーピングを行い、優先順位を検討した資料を提出してほしい。</p>
田口副会長	<p>【閉会あいさつ】</p> <p>行財政改革はそれを進める人、関わっている人それぞれが意識改革をしていかなければならないと思います。次回も、浅口市の将来に向け、新しい視点でいろいろな角度から建設的な意見を出していただくことをお願い申し上げます。</p>